

## 第1回奈良県看護師がいきいきと働き続けるための実効策検討委員会議事概要

日時：令和4年6月29日（水）15：00～17：00

場所：奈良県看護協会研修室1

参加者：石澤委員、飯尾委員、杉元委員、井上委員、小林委員、小田委員

### <議事>

#### 1 委員会の名称

名称は奈良県看護師がいきいきと働き続けるための実効策検討委員会とする

#### 2 委員長の選出

石澤委員を委員長に選出

#### 3 委員長代理の指名

飯尾委員を委員長代理に指名

#### 4 看護師に対する実態調査の実施について

看護師個人を対象としたアンケート調査を実施

#### 5 今後の議論の進め方について

特にテーマは定めずに毎回会議で出た内容を事務局の方で視覚化して資料を作成してもらい、その内容をもとに次回の会議で深掘りする。3年間かけて最終提言発表するが、1年毎を目処に中間提言を出す。

### <委員意見>

- ・コロナ前とコロナ後で看護職場がどう変わったか把握する必要がある。
- ・看護師が独自で看護や医療を考える力が弱い。  
ナースの自律的な創造力をどう養っていくか。
- ・看護だけでは患者の全ての面倒をみるのは不可能なので、地域で支えられる医療を目指し、地域の方々とうまく連携できないか。
- ・看護労働環境改善委員会を立ち上げ、3年計画で病院や施設等に職場環境改善事例についての調査と好事例の横展開に取り組んでいるところ。11月22日に発表会を予定。
- ・看護師が自分の生活パターンに合わせて訪問看護や学校教員などの仕事の選

択肢があることを若いうちから教える

- ・職場も年齢やライフサイクルに合わせたいろいろな働き方のパターンを認めてほしい。
- ・自分が育てている新人が辞めてしまうと連鎖的にプリセプターの離職にもつながることがあるので、プリセプターのあり方を見直す必要がある。
- ・訪問看護の認定看護師の資格取得については、現状では実習を受けられる地域が限られているので、実習を自分たちが住んでいる地域で受けられるようにできないか。
- ・資格を取得した看護師がその資格を活かして活躍できる環境を職場は整備してほしい。
- ・看護のいろいろな仕事を経験できるようにするため、副業を組織として認めてはどうか。
- ・アンケートでは、「自律的に働きたいと思うか」とか「医師から指示を待って仕事をするというのが当たり前だと思うか」などのアンケート項目をいれてはどうか。
- ・アンケートの周知にはSNSを活用してはどうか。
- ・今後導入予定のマイナンバーと看護師資格の連携を見据え、キャリア情報を多くの方がナースセンターへ提供されるようインセンティブを付与してはどうか。
- ・看護学生の頃から医師の指示待ちにならないようにという教育をしていかないといけない。
- ・「チーム医療」という意識を浸透させる必要がある。
- ・ミニドクターではなく、看護の専門職だという意識を持つべき。
- ・医師の働き方改革の影響で医師がこれまでと同じように働けなくなることが想定されるなかで、特定行為研修を修了した看護師が今から医師から教えてもらいながら自分達で技術を取得し、特定行為を活かせるところを広げていかないといけない。